

グアテマラ文化スポーツ大臣 エクトル・エスコベド博士講演会のお知らせ

金沢大学人間社会研究域附属国際文化資源学研究センターでは、センター発足記念キックオフ・シリーズの第2回として、グアテマラ共和国文化スポーツ大臣エクトル・エスコベド博士の講演会を下記の日程で開催します。同氏はグアテマラを代表する考古学者で、特にマヤ文明研究でこれまで数多くの成果を挙げられています。皆さまお誘い合わせの上ご来場ください。



主 催: 金沢大学人間社会研究域附属 国際文化資源学研究センター
日 時: 10月14日(金) 午後2:45~4:15 (時間が若干変更となりました)
場 所: 金沢大学角間キャンパス人間社会第1講義棟 102教室
講 師: エクトル・エスコベド氏(グアテマラ共和国文化スポーツ大臣/考古学者)
題 目: 「古代マヤ都市エル・ペルー/ワカの考古学」(日本語通訳付き)
入 場: 無料
問合せ先: 国際文化資源学研究センター(担当 吉田)
TEL 076-264-5788 E-mail yoshi23@staff.kanazawa-u.ac.jp

【エクトル・エスコベド博士略歴】

グアテマラ共和国文化スポーツ大臣。世界的に著名なマヤ考古学者。グアテマラのサン・カルロス大学で考古学の修士号、アメリカのヴァンダービルト大学で人類学の博士号を取得。グアテマラのペテン地方を主なフィールドとし、これまで数多くのマヤ遺跡の発掘調査を実施。文化自然遺産局長、文化自然遺産副大臣などを経て、2010年より現職。

【講演要旨】

エル・ペルー/ワカ遺跡はグアテマラ・西ペテン地方の古典期マヤ都市のなかで最も重要な王都の一つで、交通の要衝を押さえることで繁栄を謳歌した。とりわけ、東に位置するティカル、北に位置するカラクムル、そしてメキシコ中央高原に君臨する巨大都市テオティワカンの中に繰り広げられたパワー・ゲームにおいて重要な役割を演じたことで知られる。本講演では、古代マヤ都市エル・ペルー/ワカのドラマティックな歴史を跡づけるとともに、最新の考古学研究成果を報告する。